



20
years
2001 - 2021



ドナルド・
マクドナルド・
ハウス

Annual Report

年間報告書 2021

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

1974年、フィラデルフィア・イーグルスでアメリカンフットボール選手として活躍していたフレッド・ヒルの3歳の愛娘が白血病にかかり、入院することになりました。娘の入院中、付き添う家族の困難な姿を目の当たりにし、彼もまた、入院先が自宅から離れていることに精神的にも経済的にも苦痛を感じていました。病院の近くに家族が少しでも安らげる滞在施設があれば・・・これはフィラデルフィアの小児病院に勤める医師の強い願いでもありました。そこで彼は、病院の近くに家族が少しでも安らげる滞在施設ができないかと考え、病院のそばにあるマクドナルドのフランチャイズオーナーや小児病院の医師、フットボールチームの協力を得て募金活動を進めました。こうして1974年10月、世界初の『ドナルド・マクドナルド・ハウス』が誕生しました。



“Home away from Home”

「わが家のようにくつろげる第二の家」

病気の子どもとその家族のための、
ドナルド・マクドナルド・ハウスは、
今では日本を含め世界中に広がっています。



財団設立の趣旨

現在、難病に苦しむ子どもの数は全国で14万人に及んでおり、その難病の子どもを持つ家族まで数えると、悩んでいる人はその数倍もいることでしょう。これらの家族は、子どもが入院すると、自宅と入院先との二重生活による経済的な負担、家族が離れて暮らす精神的苦痛など、大きな負担に悩まされることとなります。このような家族を少しでも支援するために、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは設立され、子どもが入院する病院の近くに家族が安心してくつろげる滞在施設を建設し、ボランティアによって運営するという活動を行っています。ドナルド・マクドナルド・ハウスは世界的な広がりを持つ活動で、現在、世界には380以上のハウスがあります。以上のように、この公益財団法人は、患者家族の負担を社会全体で支援する仕組みづくりに寄与することを目的としているのです。

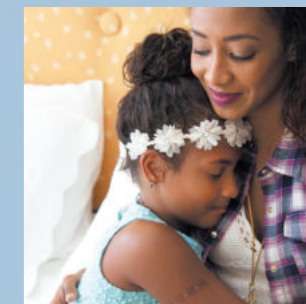
私たち公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンはグローバルチャリティです。
アメリカ・シカゴにあるRonald McDonald House Charities Global (RMHC Global) が
本部として統括し、各国に財団が設立されています。

RMHC Global のミッション



Create, find and support programs that directly improve the health and wellbeing of children.

『子どもたちの、健康で健全な成長のために、直接的な影響をもたらすプログラムを創造し、発見し、支援します。』



公益財団法人
ドナルド・マクドナルド・ハウス・
チャリティーズ・ジャパン

これを受け、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン（以下、DMHC）は、『入院している子どもたちとその家族が、よりよい生活を送れるように支援する』ことをミッションに掲げ、

- ①ハウスの建設・運営による患児と家族の支援
- ②ボランティア文化の醸成
- ③医療を社会で支える仕組みづくり

に寄与いたします。



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンの新たな取り組み SHARE HEART for SICK KIDS（シェアハートフォーシックキッズ）



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは、ドナルド・マクドナルド・ハウスの運営だけではなく、入院している子どものQOLを向上させ病気の子どもたちに笑顔を届けることを目的に、今後は様々なプロジェクトを展開する予定です。

財団の概要

名 称：公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
所在地：東京都新宿区西新宿6丁目5番1号 新宿アイランドタワー39階
目 的：本財団は、困難な病気を患っている児童及びその家族を支援するため、必要とされている医療施設の近くに安価で滞在できる施設を設置、運営することによって小児医療や家庭の福祉に貢献し、また、医療分野や福祉活動等におけるボランティア活動を推進するための啓発活動を行うことにより、わが国の医療・福祉への支援体制の確立に寄与することを目的とする。
事 業：①困難な病気を患っている児童及びその家族が滞在できる施設の設定・運営
②福祉、医療分野等を必要とする地域への支援事業
③その他前条の目的を達成するために必要と認める事業
設 立：平成11年4月1日
行政庁：内閣府



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン 理事長
国立成育医療研究センター 理事長

五十嵐 隆

2021年は日本にドナルド・マクドナルド・ハウス(以下、ハウス)が誕生して20周年という節目の年を迎えることができました。また、2020年から始まったパンデミックの中で、改めて小児医療が担っている責任の重大さやその医療によりそって活動をする当財団のありかたを深く考えさせられる日々でもありました。

このような未曾有の困難な状況下においても、第1号ハウスである「せたがやハウス」はもちろんのこと、全国のハウスを支え続けてくださいましたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

目まぐるしく変化する小児医療を取り巻く環境下で、優れた医学研究と高度先進的な医療とは両輪で、今後もこの分野では全世界的視野を持ち、真摯な努力が必要です。一方、わが国では、現代の医学・医療では、未だ解決できていない課題が多数残されています。

昨年の当財団が主催した(日本小児科学会他後援)ファミリー・センタード・ケア(FCC)フォーラムでお話しさせていただいたとおり、子どもをbiopsychosocial(身体的・心理的・社会的)に捉え、支援してゆくことが子どもの健康にとって不可欠です。しかしながら、わが国ではbiopsychosocial(身体的・心理的・社会的)に子どもを捉え、支援する取り組みが不十分です。こうした課題を解決するためには、医療分野のみならず、様々な職域の方々との連携が不可欠です。現在、新型コロナウイルス感染症の流行が長期間続いていることにより、子どもとご家族へ様々な影響が及んでいます。とりわけ、病気の子どもやそのご家族の心身の健康に及ぼす影響は甚大です。すでに、子どもと保護者の心の問題について、憂慮すべき状況にあることを示す研究や調査の結果が内外において報告されています。当財団では、病気を持つ子どもとご家族をbiopsychosocial(身体的・心理的・社会的)に支援することに取り組む所存です。

私はこれまで、様々な立場で、子どもを取り巻く課題に対して、領域や研究分野を超えた活動を行ってまいりました。小児科医の視点で観ると、現在のわが国の子どもの成育環境や子どもの健康を守り増進する健康教育について、先進諸国に比べて改善すべき多くの課題が残されています。一方、最近になって小児保健や小児医療にとって非常に重要な動きが見られています。2019年12月に施行された成育基本法の具体的な活動を示す基本方針が2021年2月に閣議決定されました。成育基本法は基本的な考え方を提示する理念法で、この基本方針は成育基本法の理念のもとに、今後改善すべき小児保健や小児医療に関する具体的項目が取りまとめられたこととなります。

さらに、これまで縦割りの部分が多かった子どもに関する行政を一元化した司令塔としての機能を持つ「子ども家庭庁」が2023年4月に創設することが2022年に決定されました。また、年々、増加する医療的ケア児を支援する方針や体制を制した「医療的ケア児支援法」も2021年9月に施行されました。この様な一連の動きは、わが国のあるべき将来を見据え、「子ども」に対する施策の重要性を国がしっかりと認識した結果と考えます。個人的にはこれらの法律が認められたことは本当に画期的なことであると心から嬉しく思います。

こうした国の動きに呼応して、当財団は全国のハウスの運営とすべての活動について、連携する小児病院をはじめとして、国、地域行政、更には関係する諸団体や支援企業の皆さまと共に、更なる連携を強化し、その役割を果たしてまいりたいと思います。

新型コロナウイルス感染症については、まだまだ予測が難しい状況が続くことと思います。しかしながら、私どもは当財団のミッションを実現するための事業推進に向けて、更に研鑽を重ね、力を尽くす所存です。

今後とも、皆さまのご支援・ご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員
野田 聖子

日本におけるドナルド・マクドナルド・ハウス生誕20周年に寄せて

日本においてドナルド・マクドナルド・ハウス生誕20周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。2001年に「ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや」が設立されてから20年の間に、財団の皆様のご尽力、また多くの方々のご支援により、現在ドナルド・マクドナルド・ハウスは全国11か所に設置されるまでになりました。これまでの素晴らしい活動に心から敬意を表しますと共に、障害がある子の母親として感謝申し上げます。

私が初めてドナルド・マクドナルド・ハウスを訪れたのは、「せたがやハウス」の開所式にお招きいただいたことからでした。その時、私はすでに国会議員を務めておりましたが、国会では女性や子どものための政策が議論されることは少なく、難病の子どものための取組みも希薄でした。そのような時代にドナルド・マクドナルド・ハウスのような、長期治療を必要とするお子さんとそのご家族のための宿泊施設が出来たことは画期的なことでしたし、ボランティア活動や寄付がまだまだ積極的ではなかった日本において、このような先駆的なハウスが運営されることは、とても有難く喜びでもありました。

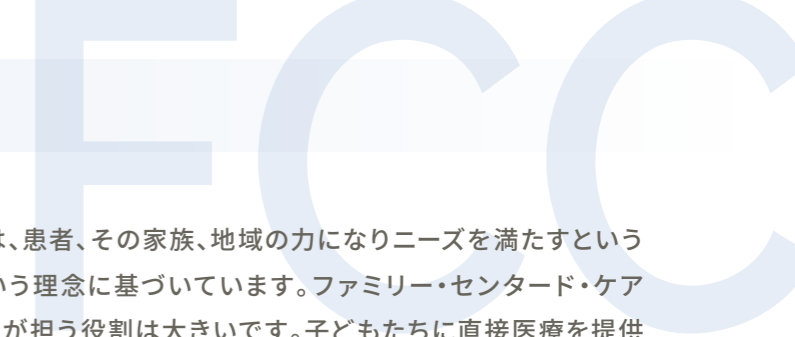
現在、私には11歳になる息子がおります。前述のように息子は障害児として誕生し、生まれてから2歳3か月まで長期入院をしていました。幸い家と病院が近かったこともあり、ハウスを利用させていただく機会はありませんでしたが、丁度息子が入院をしている時に建設された「東大ハウス」を、昨年視察させていただきました。

ハウスにはさまざまな地域から長期治療が必要なお子さんとそのご家族がいらっしゃいました。ハウスを視察させていただき最も強く感じたことは、ボランティアの方々のおかげで暖かい空気感や安らげる雰囲気づくりによって、まるで自宅に居るかのようにとってもリラックスして過ごせる事でした。更に、治療に向き合うお子さんとご家族のために、最善を尽くそうと努力されているスタッフの方々のお姿には、ただただ頭が下がる思いです。



ドナルド・マクドナルド・ハウスの精神は、日本人の心に存在している精神だと感じています。困っている人がいたら助け合い支え合う。稀薄になりつつある現代社会のつながりのなかで忘れてはならない事です。難病に苦しむ子どもは、全国で14万人に及ぶと言われており、今後も増加すると推測されています。それに伴い、ドナルド・マクドナルド・ハウスは更に必要とされていくことでしょう。私も皆さんの活動をお支えできるよう取組んでまいります。

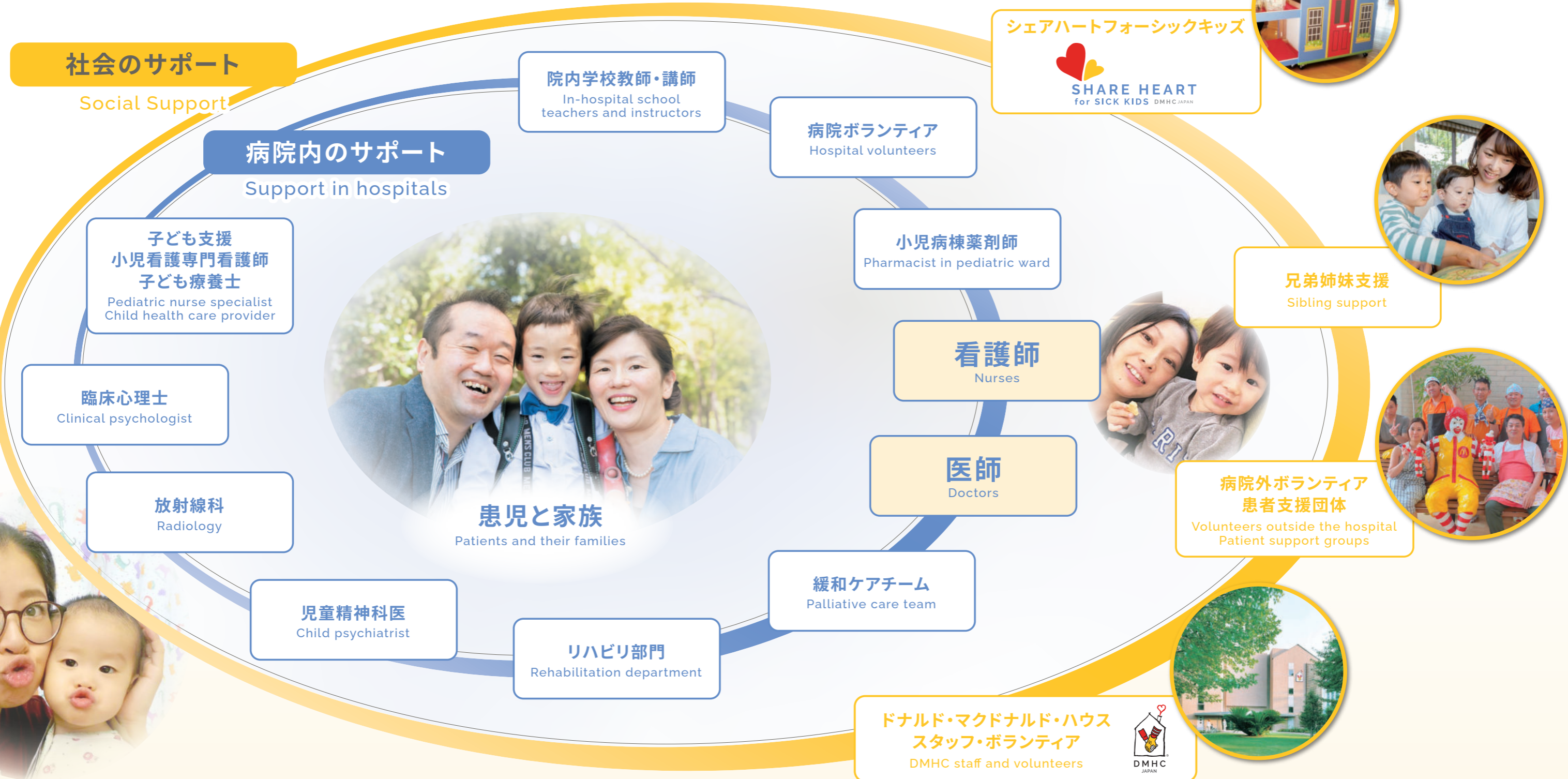
最後になりますが、ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンのご発展、ご支援くださっている皆様のご健勝を祈念申し上げ、ドナルド・マクドナルド・ハウス生誕20周年のお祝いとさせていただきます。



世界中で私たちが目指す概念 難病の子どもたちとその家族を中心に

- 1 患児・家族に対する「尊厳」と「敬意」をもつこと
- 2 家族と十分なコミュニケーションを図り、情報を共有すること
- 3 家族が望むレベルで、ケアや意思決定への参加を促し、これを支持し、支援すること
- 4 家族と医療従事者と私たちが協働すること

ファミリー・センタード・ケア(家族を中心にしたケア)は、患者、その家族、地域の力になりニーズを満たすという観点で提供される医療にもっとも大きな価値を置くという理念に基づいています。ファミリー・センタード・ケアを支援、促進するために、ドナルド・マクドナルド・ハウスが担う役割は大きいです。子どもたちに直接医療を提供することがミッションではありませんが、治療の期間中、家族を支援することにより家族を中心にしたケアを提供します。ドナルド・マクドナルド・ハウスが入院中の子どもとその家族に提供する滞在場所とサポートは有益なだけでなく、高品質で効果的な医療にとって不可欠なものとなっています。



鎌田こと葉(ことは)ちゃん・4歳/鎌田博也(ひろや)さん・百合香(ゆりか)さん
ハウス利用期間:2017年から合計約3か月
利用ハウス:ふちゅうハウス(東京都立小児総合医療センター)



妊娠中から病気が発覚し・・・

妊娠中にお腹の中のこと葉に病気があり、産まれてすぐに手術が必要になりそうだと分かりました。山梨県に住んでいたのですが、東京の病院を紹介してもらい、母がいろいろ調べてくれて、そこでドナルド・マクドナルド・ハウスの存在を知りました。出産して5日後くらいには手術があり、妊娠中から一時的に東京に引っ越ししていたので、その時は利用していなかったのですが、その半年後くらいに別の心臓の手術があり、はじめて利用しました。最終の時間まで病院にいて、こと葉が寝たらハウスに戻って、朝の6時くらいにこと葉が起きる前に行くという感じで利用し、夫や母が来てくれる時は少しゆっくり寝させてもらったりしていました。

お家と同じ「かぼちゃのスープ」

最初利用させていただいた時、ホテルみたいで驚きました!(笑) こと葉はまだ赤ちゃんだったので、ずっと病院で付き添っていて、毎日簡易ベッドで寝て、病院のシャワー室を利用していたので、ハウスでちゃんとお風呂に入れるのも、ゆっくりベッドで寝られるのもとてもありがたかったです。病院からすぐ近かったのも、大変助かりました。私がハウスに泊まる時は、夫が病院で付き添って、何か困ったことがあってもすぐに行ける距離なので、安心でした。1日1000円なので経済的にもすごく助かるので、私たちもハウスに食品とか日用品とかを寄付したりしましたが、逆に寄付されているものを使わせていただいたりもしていました。キッチンも設備がすごくて、調理道具も揃っていたので、こと葉の大好きな「かぼちゃのスープ」だったり、お家のように好きなご飯もハウスで作ってあげられたことが嬉しかったです。



家族でも利用して、娘は大喜び!

こと葉は「肺動脈欠損」という病気だったのですが、それとは別にお腹に異常がでて、半年くらい「消化管アレルギー」で入院することになりました。その時、私はずっとハウスを利用していたのですが、一時的な外泊で初めて家族でハウスを利用しました。その後も、心臓のカテーテルの時の入院などで何回か家族一緒に利用させていただきました。病院の先生からも、お家が山梨県で遠いので、「ハウスだったら外泊しても大丈夫だよ。」と仰っていただき、こと葉はホテルが大好きなので、とても喜んで、楽しんでいて、「また泊まりたい」なんて言っていました。(笑) 特にプレイルームが大好きで、おもちゃでよく遊んでいて、たくさんある寄付のDVDも喜んでよく見ていましたね。ハウスからバスに乗って駅前まで少し出かけるのも、嬉しかったです。



同じ境遇の方やボランティアさんとの出会い

ハウスは、(1人でふさぎこまないように)食事をお部屋で食べないルールになっていて、いろいろな方と話すきっかけになりました。こと葉が入院中は、本当に精神的にいろいろ大変だったのですが、お食事している時に、泊まってらっしゃる利用者さんとお話することがありました。その方も長く利用されている方で、泊まっている時の心境だったり、看病している時の大変さなどを共有できて、そんな風に同じ境遇の方と会ってお話できたことが、とても印象に残っています。ボランティアさんともお話ししたり自転車を借りたり、スタッフさんもこと葉に声をかけてくださったりしてくれて、嬉しかったです。ハウスには、ご飯を作ってくれる日や、マッサージが来てくれる日などいろいろなサービスがあって、ボランティアさんが「毎日大変だから」と勧められて、利用させていただきとても癒されました。朝早かったり、夜遅かったりする時も、スタッフさんが柔軟に対応してくれて、大変助かったのを覚えています。

意識の変化・これから一緒にいろんな体験を

こと葉が病気になるまで、ドナルド・マクドナルド・ハウスのような施設のことを知りませんでしたし、あまり意識することはなかったのですが、ハウスを利用したことがきっかけになって、マクドナルドのハッピーセットからの寄付をするようになったり、私たちも、私たちの家族も、意識が変わったように思います。おかげさまで、元気に成長してくれたので、これからはいろいろな体験をさせてあげたいです。まだ習い事をやってないので、習い事をさせてあげたり、ダンスが好きみたいなので、ダンスだったり。それと、ホテルが大好きなので、いっぱいホテルにも連れて行って、一緒にたくさんのことをしていきたいです。

入院中の子どもたちと付き添う家族をサポートするために「ちいさなギフト」(日用品・文房具・絵本・おもちゃ・アメニティなど)を載せて届けるハウスと病棟をつなぐ「ハートフルカート」。

コロナ禍で病院内のスタッフのみなさんによる試験展開を実施しました。

入院生活に欠かせないグッズは、病気と向き合う子どもたちとご家族にたいへん喜ばれました。

2022年には6か所の病院内に展開することを計画しています。



2021年試験展開病院

国立成育医療研究センター

自治医科大学とちぎ子ども医療センター

静岡県立こども病院

京都大学医学部附属病院

京都府立医科大学附属病院

兵庫県立こども病院

福岡市立こども病院

東京都立小児総合医療センター

6月4日(金)京都大学医学部附属病院、6月25日(金)京都府立医科大学附属病院に「ハートフルカート」を試験展開。京都大学医学部附属病院では60名、京都府立医科大学附属病院では50名の患者を対象に病院のスタッフの皆さまから物品を手渡しました。コロナ禍で院内での多くの催し物が中止されているなかで、ひととき、子どもたちが笑顔になりました。



DMHCアンバサダーの北澤豪さんがKBS京都の2番組に出演し、「ハートフルカート」の始動を告知してくださいました。



利用家族数

3,113 家族

2021年は3,113のご家族が滞在され、入院中の子どもに付き添うことができました。

利用人数

5,193 名

2021年は、5,193人がハウスでゆっくり休むことができました。

総宿泊数

23,421 泊

2021年は23,421泊提供することができました。



ベッドルーム数

159 室

一晩で最大159家族が
ドナルド・マクドナルド・ハウスで
安心して過ごすことができます。

ボランティア人数

1,506 名

全国のハウスで日々活動し、
病気の子どもとその家族を
サポートしている仲間です。

ボランティア活動時間数

95,680 時間

ハウス運営に関わったボランティアの活動時間数です。

募金総額

127,905,527 円

マクドナルドの店舗募金をはじめ、
病院や地域商店にも募金箱を設置し、ご協力いただきました。

寄付者数

20,501 名

2021年は、2020年の11,332名を9,169名も上回る、
のべ20,501名の方から寄付をいただきました。

寄付総額

361,242,580 円

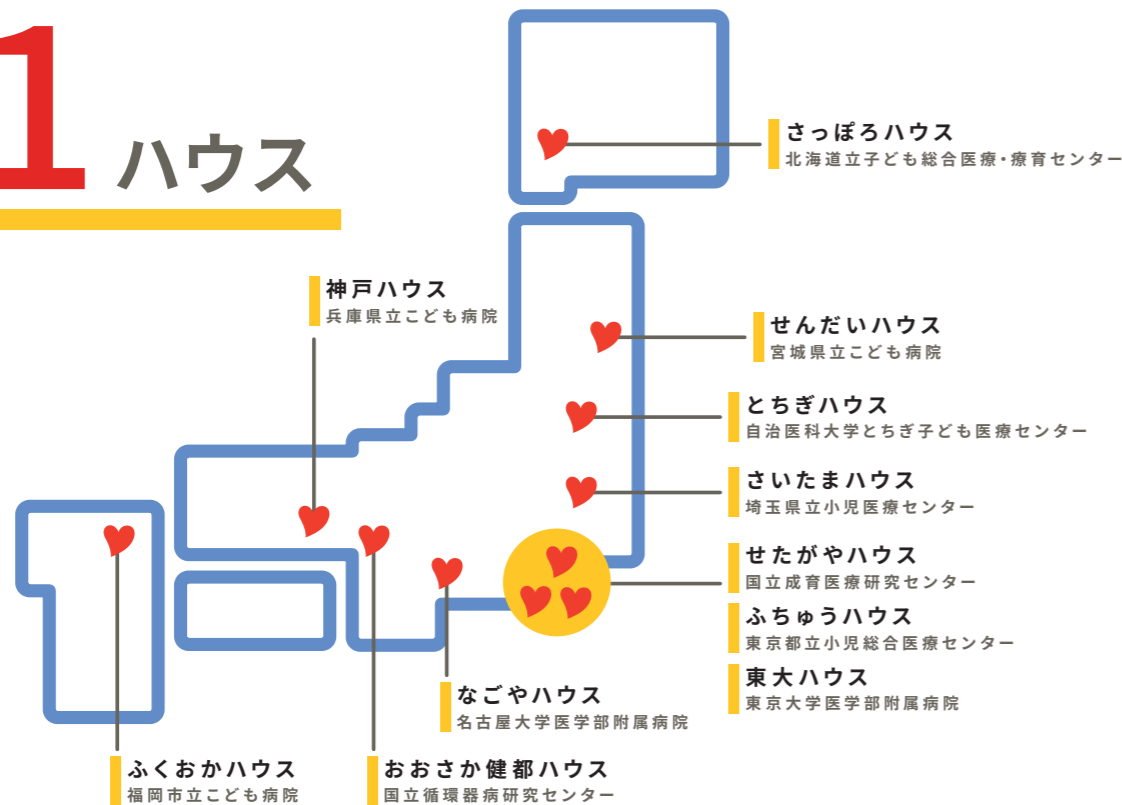
ハウスの趣旨に賛同された企業や個人の皆さまの協力で、
ハウス運営は成り立っています。



全国のハウス数

各ハウスでは、病院と連携し「わが家のようにくつろげる第二の家」を患者家族に提供しています。

11 ハウス



ドナルド・マクドナルド・ハウス
せたがや

〒157-0074 東京都世田谷区大蔵2-10-10
電話:03-5494-5534 FAX:03-3749-2267



施設概要

2001年12月に誕生した「せたがやハウス」は国立成育医療研究センターに隣接して建てられました。小児ベッド数が490床ある国立成育医療研究センターには、全国各地から患者が入院または通院しています。

収支報告(単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 5,108,000	給与手当 14,034,893
寄付金収入(運営費) 32,656,131	水道光熱費 4,600,448
会費収入 804,000	租税公課 3,350,800
その他 810,200	その他 7,089,829
運営補填金(財団内) 0	固定資産支出 0
前年度ハウス繰越金 0	次年度ハウス繰越金 10,302,361
合計 39,378,331	合計 39,378,331

ハウス情報

オープン:2001年12月
延床面積:1,744.29㎡

ベッドルーム数
23室

2021年実績

利用家族数.....**438** 家族
総宿泊数.....**4,369** 泊
平均滞在日数.....**9.9** 日
ボランティア登録者数.....**169** 名
ボランティア活動時間数.....**8,277** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス
おおさか健都

〒566-0002 大阪府摂津市千里丘新町5-30
電話:06-6339-5855 FAX:06-6339-5856



施設概要

2005年10月に誕生した「おおさか・すいたハウス」は国立循環器病研究センターの向かい側に建てられました。国立循環器病研究センターの移転に伴い、2019年6月より「おおさか健都ハウス」として、ベッドルーム数を18室から20室に増室し、大阪府摂津市にてご家族を支援しています。

収支報告(単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 3,944,200	給与手当 9,546,531
寄付金収入(運営費) 14,486,394	水道光熱費 3,129,593
会費収入 571,000	租税公課 0
その他 345,000	その他 4,764,420
運営補填金(財団内) 0	固定資産支出 751,300
前年度ハウス繰越金 0	次年度ハウス繰越金 1,154,750
合計 19,346,594	合計 19,346,594

ハウス情報

オープン:2019年6月
延床面積:1,292.88㎡

ベッドルーム数
20室

2021年実績

利用家族数.....**240** 家族
総宿泊数.....**3,348** 泊
平均滞在日数.....**17.2** 日
ボランティア登録者数.....**173** 名
ボランティア活動時間数.....**10,361** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス
せんだい

〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合4-5-3
電話:022-391-1233 FAX:022-392-5535



施設概要

2003年11月に誕生した「せんだいハウス」は宮城県立子ども病院のそばに建てられました。子ども病院は241床あり、ハウスは主に東北地方からの患者家族が利用しています。

収支報告(単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 2,016,000	給与手当 10,709,241
寄付金収入(運営費) 17,510,300	水道光熱費 4,592,493
会費収入 591,000	租税公課 1,545,400
その他 910,384	その他 7,582,833
運営補填金(財団内) 13,434,283	固定資産支出 10,032,000
前年度ハウス繰越金 0	次年度ハウス繰越金 0
合計 34,461,967	合計 34,461,967

ハウス情報

オープン:2003年11月
延床面積:1,679.36㎡

ベッドルーム数
16室

2021年実績

利用家族数.....**334** 家族
総宿泊数.....**1,453** 泊
平均滞在日数.....**4.6** 日
ボランティア登録者数.....**130** 名
ボランティア活動時間数.....**7,838** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ

〒329-0434 栃木県下野市祇園2-36-3自治医大2号館3階
電話:0285-58-7551 FAX:0285-44-4154



施設概要

2006年9月に誕生した「とちぎハウス」は自治医科大学とちぎ子ども医療センターの向かい側に開設されました。とちぎハウスは、自治医科大学の建物の一部を無償でお借りし、県の補助金を使って大学側に内装整備していただいたハウスです。2013年には増室工事をを行い、7室だったハウスが10室に、さらに2021年にはリフレッシュ工事をを行い、内装を整備しました。

収支報告(単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 443,000	給与手当 10,414,410
寄付金収入(運営費) 16,507,724	水道光熱費 1,290,030
会費収入 505,000	租税公課 0
運営負担金(自治医大) 872,500	その他 2,592,596
その他 95,202	固定資産支出 42,931,517
運営補填金(財団内) 33,492,554	次年度ハウス繰越金 0
前年度ハウス繰越金 5,312,573	
合計 57,228,553	合計 57,228,553

ハウス情報

オープン:2006年9月
延床面積:652.90㎡

ベッドルーム数

10室

2021年実績

利用家族数..... **101** 家族
総宿泊数..... **386** 泊
平均滞在日数..... **3.7** 日
ボランティア登録者数..... **84** 名
ボランティア活動時間数..... **5,290** 時間

※ハウス内の設備改修工事のため、10月1日(金)~12月26日(日)まで休館



ドナルド・マクドナルド・ハウス ふちゅう

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2丁目9-2
東京都立多摩・小児総合医療センター宿泊棟1階
電話:042-300-4181 FAX:042-325-2266



施設概要

2010年3月、東京都府中市にふちゅうハウスがオープンしました。東京都立小児総合医療センターの隣接地に建てられたハウスは、東京都の宿泊棟の1階部分を無償でお借りし、12家族が滞在可能です。

収支報告(単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 1,890,000	給与手当 10,516,641
寄付金収入(運営費) 15,090,104	水道光熱費 0
会費収入 225,000	租税公課 37,500
その他 199,500	その他 4,431,171
運営補填金(財団内) 0	固定資産支出 99,000
前年度ハウス繰越金 3,497,692	次年度ハウス繰越金 5,817,984
合計 20,902,296	合計 20,902,296

ハウス情報

オープン:2010年3月
延床面積:688.33㎡

ベッドルーム数

12室

2021年実績

利用家族数..... **215** 家族
総宿泊数..... **1,505** 泊
平均滞在日数..... **6.6** 日
ボランティア登録者数..... **161** 名
ボランティア活動時間数..... **7,897** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ

〒006-0041 北海道札幌市手稲区金山1条1丁目2-5
電話:011-688-4533 FAX:011-691-8866



施設概要

2008年12月に誕生した「さっぽろハウス」は北海道立子ども総合医療・療育センター(通称:コドモックル)の向かい側に開設されました。コドモックルは215床あり道内からの患者家族が利用しています。

収支報告(単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 1,442,000	給与手当 10,656,653
寄付金収入(運営費) 16,646,270	水道光熱費 3,354,250
会費収入 186,000	租税公課 812,700
その他 58,000	その他 4,890,666
運営補填金(財団内) 1,254,756	固定資産支出 115,500
前年度ハウス繰越金 242,743	次年度ハウス繰越金 0
合計 19,829,769	合計 19,829,769

ハウス情報

オープン:2008年12月
延床面積:994.22㎡

ベッドルーム数

10室

2021年実績

利用家族数..... **239** 家族
総宿泊数..... **1,133** 泊
平均滞在日数..... **4.6** 日
ボランティア登録者数..... **131** 名
ボランティア活動時間数..... **10,215** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス 東大

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東大構内
電話:03-3812-9877 FAX:03-3812-9688



施設概要

2011年12月、日本で最初のハウスが誕生して10年を記念して、東京大学構内に東大ハウスがオープンしました。東京大学医学部附属病院の隣接地に建てられたハウスは、4階建てで12家族が滞在可能です。

収支報告(単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 2,066,000	給与手当 10,857,208
寄付金収入(運営費) 16,373,542	水道光熱費 1,857,016
会費収入 270,000	租税公課 4,968,793
その他 211,050	その他 5,345,156
運営補填金(財団内) 4,397,981	固定資産支出 290,400
前年度ハウス繰越金 0	次年度ハウス繰越金 0
合計 23,318,573	合計 23,318,573

ハウス情報

オープン:2011年12月
延床面積:979.72㎡

ベッドルーム数

12室

2021年実績

利用家族数..... **168** 家族
総宿泊数..... **1,511** 泊
平均滞在日数..... **10.2** 日
ボランティア登録者数..... **125** 名
ボランティア活動時間数..... **8,199** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや

〒466-0065 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65 名大病院構内
電話:052-744-0203 FAX:052-741-7707



施設概要

2013年11月に「なごやハウス」は中部地方で初めてのハウスとして誕生しました。名古屋大学医学部附属病院構内に建てられたハウスは、3階建てで12家族が滞在可能です。

収支報告(単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 2,230,000	給与手当 11,919,787
寄付金収入(運営費) 26,566,714	水道光熱費 2,650,862
会費収入 246,000	租税公課 2,186,700
その他 270,200	その他 5,003,424
運営補填金(財団内) 0	固定資産支出 0
前年度ハウス繰越金 16,862,050	次年度ハウス繰越金 24,414,191
合計 46,174,964	合計 46,174,964

ハウス情報

オープン:2013年11月
延床面積:1,192.22㎡

ベッドルーム数

12室

2021年実績

利用家族数.....**299** 家族
総宿泊数.....**1,903** 泊
平均滞在日数.....**6.3** 日
ボランティア登録者数.....**153** 名
ボランティア活動時間数.....**9,634** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス 神戸

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目6-7
電話:078-302-7222 FAX:078-302-7223



施設概要

2016年5月に誕生した「神戸ハウス」は、兵庫県立こども病院の移転に伴い、兵庫県によって整備されました。メディカルエリアに開設されたハウスは、病院に隣接した3階建てで16家族が滞在可能です。

収支報告(単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 4,107,000	給与手当 9,905,151
寄付金収入(運営費) 16,293,345	水道光熱費 3,080,844
会費収入 162,000	租税公課 0
その他 158,200	その他 3,382,738
運営補填金(財団内) 0	固定資産支出 1,138,775
前年度ハウス繰越金 12,322,931	次年度ハウス繰越金 15,535,968
合計 33,043,476	合計 33,043,476

ハウス情報

オープン:2016年5月
延床面積:1,249.5㎡

ベッドルーム数

16室

2021年実績

利用家族数.....**379** 家族
総宿泊数.....**3,481** 泊
平均滞在日数.....**8.8** 日
ボランティア登録者数.....**120** 名
ボランティア活動時間数.....**7,953** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス ふくおか

〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉5-1-2
電話:092-692-2031 FAX:092-692-9087



施設概要

2015年5月に「ふくおかハウス」は九州地方で初めてのハウスとして誕生しました。福岡市立こども病院の敷地内に建てられたハウスは、16室でオープンしましたが、より多くのご家族が利用できるように2019年秋に増室工事を行い21室となりました。

収支報告(単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 3,877,700	給与手当 9,805,766
寄付金収入(運営費) 12,689,605	水道光熱費 3,787,523
会費収入 24,000	租税公課 1,892,650
その他 567,600	その他 4,810,580
運営補填金(財団内) 3,280,614	固定資産支出 143,000
前年度ハウス繰越金 0	次年度ハウス繰越金 0
合計 20,439,519	合計 20,439,519

ハウス情報

オープン:2015年3月
延床面積:1,827.01㎡

ベッドルーム数

21室

2021年実績

利用家族数.....**476** 家族
総宿泊数.....**2,715** 泊
平均滞在日数.....**6.0** 日
ボランティア登録者数.....**90** 名
ボランティア活動時間数.....**9,504** 時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス さいたま

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2
埼玉県立小児医療センター6階
電話:048-601-0123 FAX:048-601-0126



施設概要

2016年12月に誕生した「さいたまハウス」は、埼玉県立小児医療センターの移転に伴い整備され、国内では初めての病院内に開設されたハウスです。埼玉県立小児医療センターは、316床あり小児救命救急医療が強化された病院のため、多くの患者が入院または通院しています。

収支報告(単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 2,037,000	給与手当 9,828,461
寄付金収入(運営費) 17,064,625	水道光熱費 0
会費収入 159,000	租税公課 0
その他 405,650	その他 2,992,049
運営補填金(財団内) 0	固定資産支出 109,450
前年度ハウス繰越金 31,926,259	次年度ハウス繰越金 38,662,574
合計 51,592,534	合計 51,592,534

ハウス情報

オープン:2016年12月
延床面積:575㎡

ベッドルーム数

7室

2021年実績

利用家族数.....**232** 家族
総宿泊数.....**1,658** 泊
平均滞在日数.....**7.0** 日
ボランティア登録者数.....**173** 名
ボランティア活動時間数.....**10,543** 時間

「病気の子どもたちと家族のために」

多くの人に支えられ、ドナルド・マクドナルド・ハウスが日本に誕生して20年を迎えました。ご家族やお子さん、病院の先生や看護師さんを始めとする医療従事者の方々、ボランティアの皆さん、ハウスを支えているサポーター、たくさん笑顔と温かい気持ちが、ハウスで生まれました。

2001

12月 国内第1号ハウス「ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや」(東京都世田谷区)オープン



2003

11月 「ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだい」(宮城県仙台市)オープン



2001

19 1
1,273

2002 817 2
14,354

2003 1,067 2
24,385

2004 1,777 4
35,358

2005 2,201 5
41,085

2006 2,487 5
46,667

2007 2,509 6
58,962

2008 2,959 6
77,191

2009 3,397 7
86,745

2010 3,665 8
89,343

2011 4,209 8
109,695

2012 4,819 9
124,734

2013 5,634 10
131,054

2014 6,629 12
151,837

2015 7,453 12
171,270

2016 7,578 12
166,427

2017 7,312 11
182,874

2018 7,312 11
182,874

2019 7,312 11
182,874

2020 2,360 11
86,940

2021 3,113 11
95,680

2005

2月 「ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち」(高知県高知市)オープン(2019年3月にクローズ)

10月 「ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」(大阪府吹田市)オープン



2006

1月 財団名を「財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」に改称

9月 「ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ」(栃木県下野市)オープン

12月 ドナルド・マクドナルド・ハウス創設者のオードリー・E・エヴァンス氏来日、講演会を実施



2006

2006 2,201 5
41,085

2004

2004 1,777 4
35,358

2005

2005 2,201 5
41,085

2007

8月 「せんだいハウス」リフレッシュ工実施

9月 「せたがやハウス」増室工を実施し18室から21室へ

2008

12月 「ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ」(北海道札幌市)オープン



2008

2008 2,959 6
77,191

2009

10月 厚生労働大臣より感謝状を授与される

2010

1月 公益財団法人に認定される

3月 「ドナルド・マクドナルド・ハウス ふちゅう」(東京都府中市)オープン



2011

10月 ハウス主催のオープンハウスを開催(以降、各ハウスにて継続的に開催)

12月 「ドナルド・マクドナルド・ハウス 東大」(東京都文京区)オープン

「せたがやハウス」10周年記念講演会および10年継続ボランティアの表彰式開催



2012

2012 4,209 8
109,695

2013

7月 「とちぎハウス」増室工を実施し7室から10室へ

11月 「ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや」(愛知県名古屋市中区)オープン

延べ30,000家族がハウスに滞在



2014

10月 東京大学より稷門賞を授与される

2015

5月 「ドナルド・マクドナルド・ハウス ふくおか」(福岡県福岡市)オープン

10月 世界第1号ハウス(米国フィラデルフィア)40周年を記念しマクドナルド社と共に「スマイルソックス」キャンペーンを実施

11月 「せたがやハウス」増室工を実施し21室から23室へ

2016

2016 6,629 12
151,837

2015

2015 5,634 10
131,054

2016

2016 7,578 12
166,427

2017

2017 7,312 11
182,874

2018

2018 7,312 11
182,874

2019

6月 「ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか健都」(大阪府摂津市)「おおさか・すいたハウス」より移転、18室から20室に増室し、オープン

10月 ふくおかハウス増室工を実施し16室から21室へ

2019

2019 7,312 11
182,874

2020

2020 2,360 11
86,940

2021

2021 3,113 11
95,680

2020

3月 新型コロナウイルス(COVID-19)により新規ご家族の受け入れ中止

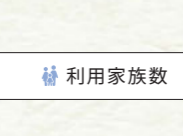
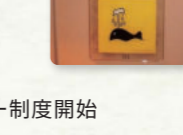
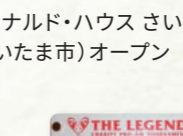
4月 さっぽろハウス、さいたまハウス、ふちゅうハウス、ふくおかハウスの4ハウスが一時的に閉館。閉館中、医療従事者向けの休憩施設として無償提供

8月 COVID-19 感染防止ハウスガイドラインに従い、運営段階を4段階に分けて全ハウス運営再開

2021

12月 日本第1号ハウス せたがやハウス生誕20年

FCCフォーラム&ボランティア表彰式



利用家族数 ハウスの数 ボランティア活動時間

「せたがやハウス」生誕20周年に寄せて



前国立成育医療研究センター病院長
現賛育会病院副院長

賀藤 均

国立成育医療研究センター(NCCHD)は、太子堂にあった国立小児病院(1965年に診療開始)が国立大蔵病院と合併して、2002年、国立大蔵病院跡地の現在地に設立されました。4F秘書室前の掲示板に、国立大蔵病院の後ろに建設中のNCCHDの建物が建っている写真があります。もし機会があれば、是非、ご覧下さい。

同時期に、「ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや」が日本では最初にサービスを開始しました。NCCHDは病院と研究所からなる唯一の小児と周産期を専門とする国立高度専門医療研究センターで、北海道から沖縄まで、全国から患者さんが治療目的で来院されたり、搬送されてくるような病院を目指していました。当時、NCCHDのある大蔵、近辺の砧、成城学園にホテルはなく、遠方からいらしても、ご家族は新宿、用賀、二子玉川などのホテルに滞在するしかない環境でした。これでは、本来のNCCHDのミッションが果たせないと考えた国立大蔵病院長の開原成充先生が当時の日本マクドナルドの藤田社長にお願いして誘致したと聞いております。開原先生の考えたNCCHD将来構想にはドナルド・マクドナルド・ハウスは必須の施設だったのだらうと思えます。開原先生には、大きな視点で日本の小児医療のあり方、NCCHDのあり様が見えていたのでしょうか。開原先生の予想通り、NCCHDは発展し、地方からも多くの患者さん・ご家族がいらっしゃるようになり、患者さんのご家族にとって、せたがやハウスはなくてはならない存在となりました。

「せたがやハウス」は、NCCHDの隣にある安価な宿泊施設というだけの存在ではなく、お子さんが重い病気を患ってしまったご家族の心の支えとなる施設であることが最大の特徴です。遠方から東京の世田谷に飛行機、ヘリコプター、救急車で搬送されてきたご家族にとって、「せたがやハウス」は暗闇の中で暖かい光を放つお家に見えたのではないのでしょうか。子どもの重い病気の治療には、ご家族の支えが必須であり、そのご家族の心の拠り所として「せたがやハウス」があったのだらうと考えております。コロナ禍によって一休みしていますが、NCCHDにはアジア諸国からの患者も増えてきており、「せたがやハウス」の20年は、国際的にも重要度が増していった時代です。

「せたがやハウス」は、NCCHDにとって、見習うべき教科書ともなっています。それはボランティアの方々、寄付金から成り立っているハウスの運営方式です。欧米の多くの小児病院の運営資金の10~15%は寄付金収入で賄われています。その国の将来を担う小児の医療は国全体・社会全体で支えるという意識が高いのだらうと推察します。NCCHDの病院運営には税金である交付金は投入できませんので、他の公立の小児病院のように赤字を税金で補填することはできません。NCCHD病院の健全な運営には、寄付金が必須の状況です。また、NCCHDにおけるボランティア活動のあり方を考えた時、「せたがやハウス」の頑張りも教科書的な存在です。

このように「せたがやハウス」は、NCCHD病院にとっては大事な家族のような20年でした。今後も、支えあっていく存在であって欲しいと願う次第です。私は2008年から国立成育医療研究センターにお世話になり、今年3月末で定年退職となりました。この間、8年間病院長を勤めさせていただきました。20年間のうちの2/5ですので、歴代の病院長の中で、最も長い期間、「せたがやハウス」にはお世話になった病院長でもあります。私自身、「せたがやハウス」には心から感謝しなければなりません。最後に、20年間、どうもありがとうございました。また、これからもお互い、頑張りましょう。

Volunteer Voice 多くを学び、魅力的な人たちと出会えたハウスでの20年

下の子どもが幼稚園に通うようになり、空いた時間に何かできないかと思っていたところ、マクドナルドの店頭においてあったボランティア募集用紙が目に入り、私にしては珍しく悩むこともなく説明会に参加しました。初めから無理せず楽しむ気持ちで、緊張感なく自然に活動を続けていたら20年経っていました。大切に大好きなボランティアの仲間と汗をかいて活動した後の、充足感に満ちた清々しい気持ちが好きで続いたのかもしれない。苦手なお裁縫を仲間から教えていただきながら取り組んだ利用ご家族へのプレゼント制作、オープンハウスなどでシフトの違う仲間にも会い、皆で力を合わせて活動する喜びを味わえたことが印象的です。利用ご家族には「おはようございます」「いってらっしゃい」などのお声かけは元気にしますが、それ以上は立ち入らず、あとは居心地が良いようハウスを清潔に保つことを心掛けています。ご家族の気持ちに心で寄り添っていきたいです。ここでの出会いと活動は、私に少しの自信と生活のハリを与えてくれました。ハウスはいつも私を温かく迎えてくれる場所であり、元気にしてくれる場所。そして、自分を好きでいさせてくれる場所です。ハウスには感謝しかありません。



せたがやハウス ボランティア 黒田 真実

Family Voice 20年前ハウスで支えられた日々、そして母になった現在

ハウスを初めて利用したのは、小児がんの治療中のすごく辛い時期でした。末期の診断を受けて、地元の沖縄を離れての生活に楽しみはほとんどなかった頃、ハウスに宿泊することになり、旅行に行くような楽しさとワクワクを感じたのを覚えています。初めての体験に弱っていた体も元気が出て、プレイルーム、キッチン、部屋などを探検しました。ボランティアスタッフが「わが家だと思ってたくさん遊んでね」と笑顔で優しく声を掛けてくれ、闘病中だと忘れることができました。その後病気を克服し、私は息子を出産しました。たくさんの方の支えがあり、私が今ここにいると思うと奇跡だと感じます。母となったと同時に、感謝の気持ちがより強くなりました。息子の存在は支えであり、希望です。今まで諦めたい時も前を向いて良かった。今は本当に幸せでいっぱいです。何年経っても辛かった記憶は忘れられませんが、それ以上に楽しかったハウスでの思い出は、今の私を支え乗り越える力となった場所であり、落ち着く「わが家」のような存在です。どんなに辛い時でも笑顔で迎えてくれるボランティアの方に、親子で支えられていました。思い返すと「一人ではない!」そういつも感じさせてくれる場所でした。利用されるすべての方が笑顔の日々となりますように。



ハウス利用者 志野 やよい

狂言師の和泉元彌さんとアーティストの美弥るりかさんが、ドナルド・マクドナルド・ハウスの新サポーターに就任されました。今後、ハウスの活動を継続的にサポートしてまいります。



Message

昨年、実際にハウスを利用されているご家族のお話に触れる機会があり、ハウスの必要性を感じ、その活動の素晴らしさに感動いたしました。私もハウスを支援したいという思いから、2021年より新たにハウスのサポーターとして「チャリティラン&ウォーク」に参加させていただきましたこととなりました。



狂言師和泉流二十世宗家
和泉元彌さん

当日は、走ることで、病気と闘う子どもたちとその家族にエールを送りました。少しでも多くの方に、ハウスの取り組みを知っていただきたいという思いを胸に走る道中で、大会に参加された同じチャリティTシャツを着た方にお声掛けいただいたり、ゴール地点の東大ハウスにはたくさんの仲間たちが集まって応援してくれていました。一人でできることには限界があるけれど、たくさんの同志と繋がることで大きな力になることを実感する一日となりました。

今後も、ドナルド・マクドナルド・ハウスを中心に子や家族を思う同志と共に、サポーターの一人として、また同じ子を持つ親として、病気のお子さんとそのご家族が笑顔になれるよう、私ができることでハウスの支援をしてみたいと思います。

和泉元彌



Message

はじめまして。美弥(みや)るりかです。2021年より、DMHCのサポーターとして活動させていただいています。私がDMHCを知ったきっかけは、親戚の子どもが入院した際にその家族が利用していたことでした。その時から、DMHCはご家族に寄り添ってサポートすることにより、子どもの元気・笑顔に繋がる、そんな素敵な施設だと思っていました。そして、20年間継続して多くの子どもとご家族を支えていることも知り、私も微力ながらお力になりたいと思いました。



アーティスト(元宝塚歌劇団)
美弥るりかさん

昨年、せたがやハウスを訪問させていただいた際には、ハウスはわが家のように安心して過ごせる、人と人がつながり温かさが溢れている、ということを感じました。私にできることの1つは、“発信していくこと”だと思っています。活動するなかで「今までDMHCを知らなかった」「ボランティアの関わり方が分からない」という声を聞きました。DMHCの活動について、一人でも多くの方に知っていただきたいです。私が長年携わっている、エンターテインメントの力を通じての発信もしていきたいと思っています。

今はコロナ禍でなかなかお会いできませんが、たくさん笑顔で過ごしていただければ幸いです。

美弥るりか



東大阪市とパートナーシップ協定を締結・募金活動を実施

2月9日(火)東大阪市とパートナーシップ協定を締結しました。相互に連携、協力し、スポーツや文化活動及びボランティア活動を通じたまちづくりに関する取り組みを推進、ハウスの活動に関する市民の興味・関心の向上を図ることを目的としています。今回が、当財団にとって初となる自治体との協定締結となりました。

東大阪市主催のコンサートに患者家族を招待、東大阪市主催のイベントでのハウス告知、支援企業のご紹介などの連携を実施する予定です。

また10月21日(木)花園ラグビー場にて、地元ラグビーチーム「花園近鉄ライナーズ」の協力による募金活動を実施。募金総額は132,868円となりました。



野田聖子衆議院議員 東大ハウス視察

4月14日(水)野田聖子衆議院議員が、東大ハウスを視察されました。ご自身も病気のお子様を持つご経験から、ハウスの取り組みについて大きな関心をお寄せいただきました。ハウス内をご覧になり、ハウスの活動を理解していただくとともに、東京大学医学部附属病院の瀬戸病院長、小見山看護部長、高橋教授他を交えて、コロナ禍におけるハウス及び病院の対策や状況を共有しました。ご自身のSNSでも、訪問の様子とともに温かいコメントも発信していただきました。



美弥りりかさん せたがやハウス訪問・募金活動

2021年度より新たにサポーターに就任した、アーティスト(元宝塚歌劇団)の美弥りりかさんが、5月12日(水)「せたがやハウス」を訪問してくださいました。ハウスでのボランティア体験やご利用家族へのインタビューなどを通じて、みんなが笑顔になれる「チカラポイント」をたくさん発見し、「私もチカラになりたい」という想いが一層強くなったそうです。訪問の様子を配信する動画では、応援メッセージと支援への呼びかけもしていただきました。



【私もチカラになりたい】
 ドナルド・マクドナルド・ハウス支援 美弥りりかさん https://youtu.be/_w2oHjv-eM

こちらから動画が
 ご覧いただけます。



ドナルド・マクドナルド・ハウス支援 チャリティラン&ウォーク

11月21日(日)全国のハウスサポーターが参加でき、オンライン上でつながるイベント「チャリティラン&ウォーク」が開催されました。昨年に続き、YouTubeを生配信しながら全国どこからでも参加できるチャリティランイベントで、約4,700名の皆さまが参加してくださいました。当日はスポーツ、芸能、音楽など様々な分野から多彩なゲストにご参加いただき、ランニング企画やトークイベントなどを生配信。SNS投稿の紹介やzoomで配信に出演していただくことで、各地のサポーターの皆さんともつながることができました。このイベントを通じて寄せられた寄付・募金の総額は14,188,679円となりました。



プロ野球選手会の選手がサポート

2020年シーズンより日本プロ野球選手会所属選手が、ドナルド・マクドナルド・ハウスに対して自身で設定した成績に応じた支援をスタート。昨シーズンに引き続き28選手が参加し、総額9,662,000円のご寄付をいただきました。

主な参加選手

近藤 健介選手(北海道日本ハムファイターズ)	1安打につき1万円
中村 剛也選手(埼玉西武ライオンズ)	1試合出場につき1万円
千賀 滉大投手(福岡ソフトバンクホークス)	1イニングにつき1万円
今宮 健太選手(福岡ソフトバンクホークス)	1安打につき1万円
鈴木 大地選手(東北楽天イーグルス)	1安打につき1万円
山田 哲人選手(東京ヤクルトスワローズ)	1四球につき1万円

etc.



感謝の贈呈式をオンライン開催

5月25日(火)、前年度に100万円以上をご寄付いただいたプラチナ、ゴールド、シルバースポンサーの皆さまを招待し、オンラインにて感謝の贈呈式を開催。当日は115名の皆さまにお集まりいただき、日頃より当財団を支援してくださっている企業や個人の皆さまに感謝の意を表するとともに、昨年の活動報告などをさせていただきました。式典では、2020年より始まった日本プロ野球選手会としての取り組みを、同・森忠仁事務局長よりご紹介いただきました。贈呈式後には、DMHCの五十嵐隆理事長、日本マクドナルド株式会社の日色保代表取締役社長 兼 CEOを交え、支援企業の皆様との意見交換会を実施いたしました。



「ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた」安全祈願祭

9月22日(水)国内12号目となる「ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた」が、新潟大学医歯学総合病院の敷地内で着工し、同所で安全祈願祭が執り行われました。

祈願祭には、新潟県、新潟大学、新潟大学医歯学総合病院の関係者にご参列いただき、鍬入れの儀や玉串奉奠を行い、工事の安全を祈願いたしました。

県内の患者ご家族からもハウス建設の要望が上がっており、建設費の約半分となる2億円近くが多くの支援者様からの寄付で賄われます。延べ床面積850㎡、地上4階建て、10室のベッドルームが備わった「にいがたハウス」は、2022年6月に竣工し、同年10月オープン予定です。



ファミリー・センタード・ケア(FCC)フォーラム2021開催

日本第1号ハウス生誕20周年を記念し、12月10日(金)・11日(土)の2日間にわたり、「ファミリー・センタード・ケアフォーラム」を、東京大学本郷構内「伊藤謝恩ホール」およびオンラインにて開催。医療従事者、ボランティア、支援企業、一般の方など254名の皆さまにご参加いただきました。フォーラムのテーマは『小児医療を取り巻く環境の変化と日本におけるFCCの現状と未来』。講演やパネルディスカッションなどを通して、マンパワーや施設の環境だけでなく、小児医療に携わる様々な関係者の現状を共有し、社会(地域)としてどのように患児と家族を支えていくべきなのかをみんなで考えました。

2日目にはDMHCのサポーターでもある俳優・音無美紀子さんと有志メンバーによるクリスマスメドレーの配信も行われ、会場と病棟やハウスをオンラインで結んで、少し早いクリスマス気分を楽しみました。また、10日(金)には「せたがやハウス」のボランティア勤続20年表彰式も行われ、総勢11名のボランティアの方々が参加しました。



モザイクアート完成

コロナ禍が続く中、全国の皆さまに「笑顔」「元気」「勇気」を発信するべく、全国で病気と闘う子どもたちとそのご家族から写真を募集し、集まった写真でモザイクアートを作成しました。写真は全国11ハウスを利用したご家族と各ハウスの連携病院ご協力のもと、約2か月間273家族から356枚の写真を投稿いただきました。

出来上がったモザイクアートは、11月21日(日)に開催された、「ドナルド・マクドナルド・ハウス支援 チャリティラン&ウォーク」で発表。この日は内閣府の定める「家族の日」でもありました。全国で治療をがんばっている子どもたちとそのご家族、また地域や社会へ、このアートを通して少しでもエールを送ることができればと願っています。モザイクアートは全国11ハウスで展示している他、今回の主旨に賛同いただいたマクドナルド店舗の一部でもご覧いただけます。



投稿写真に添えられたご家族からのメッセージ

- いつも家族共々お世話になっています。これからも優しい心の輪が続きますように。
- このプロジェクトに参加させてもらうことで、今までにお世話になった人達への感謝をあらためて感じることができ、これからの通院、治療も頑張ろうという気持ちになれます。ありがとうございます。
- うちの子もたくさん応援してもらってがんばっています！みんなで笑顔がひとつでも多くみられるように頑張りましょう！
- このプロジェクトを通して病気と闘う子どもたち、そしてその現実と向き合っ一緒に付添い闘う大人たちの折れそうな気持ちを「少しでも!」「一人でも!」支えてあげられるものとなるよう願っています^_^

クリスマスサンタプロジェクト2021

クリスマスに自宅に帰れず、病院で治療を受ける子どもたちやその兄弟へのクリスマスプレゼントを募集し、100人を超える全国のサンタさんから、たくさんプレゼントが集まりました。

クリスマスにハウスに滞在しているご家族を通して、入院中の子どもたちとその兄弟へ楽しいクリスマスプレゼントを贈ることができました。全国のご支援者さまからのあたたかいお気持ちが、治療を頑張る子どもたちとそのご家族の笑顔に繋がりました。



「ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだい ナイター」開催 せんだいハウス

9月28日(火)日本マクドナルド社、マクドナルドフランチャイズ法人、および東北楽天ゴールデンイーグルス様ご協力のもと、チャリティイベント「ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだい ナイター」を開催しました。楽天生命パーク宮城のエントランス周辺全4カ所に募金ブースを設置し、「ドナルド・マクドナルド・ハウス」の告知と募金活動を実施。スタジアム内では、電光掲示板などでハウスの告知を行い、ファンの皆さまをはじめとする多くの方々に支援を呼びかけました。

さらに、せんだいハウスを利用する約20組のご家族をスタジアムにご招待し、スターティングファミリーや選手との記念撮影、始球式への参加など特別な体験をプレゼント。始球式に出場した熊谷共生君の密着映像などがメディアに取り上げられ、イベントを通してDMHCの取り組みを伝えることができました。

このイベントでのチケット募金と募金活動による総額は536,071円となりました。



©Rakuten Eagles



©Rakuten Eagles

映画「ハチとパルマの物語」MOVIXさいたまで募金活動 さいたまハウス

5月29日(土)映画「ハチとパルマの物語」の公開日に「MOVIXさいたま」で行われた出演者の舞台挨拶付き上映会で、東京テアトル様、MOVIXさいたま様のご力を得て募金活動を行いました。

この映画に協賛された、ドナルド・マクドナルド・ハウスの支援企業でもある日本マクドナルド様より「ハチ」の絵本をご提供いただき、映画を観たお客様に500円以上の募金のお礼としてお渡ししました。

2回の上映会はほぼ満席で、映画の感動と共に沢山の方に募金にご協力いただき、75,543円(117冊)が集まりました。



チャリティラッフル・クラウドファンディングなどの寄付・募金活動

なごやハウス

チャリティラッフル

「ドナルド・マクドナルド・ハウス なごやを支える会」主催による「チャリティラッフル2021」。

毎年多くの方にご参加いただいておりますが、2021年もコロナ禍に関わらず、140万円もの募金が集まり、昨年を大きく上回り目標を達成することが出来ました。

また、支援企業、名大病院関係者、入院患児のご家族、ハウスボランティア他、皆さまにはたくさんの景品のご提供と募金にご参加いただきました。

開催期間	10月1日(金)~12月15日(水)
参加人数	230名
募金総額	1,400,000円



東大ハウス

チャリティラッフル

「ドナルド・マクドナルド・ハウス 東大 ラッフルサポートグループ」主催による「チャリティラッフル2021」。

開所以来毎年大変多くの方にご参加いただいておりますが、東大ハウス生誕10周年の2021年はコロナ禍にも関わらず昨年を大きく上回る募金を集めることができました。支援企業、ハウスボランティア、東大病院関係者他、支援者の皆さまよりたくさんの景品のご提供と募金へご参加をいただきました。また、DMHCのブログをご覧になった元ハウスのご利用者や一般の方々からもお申込みをたくさんいただきました。

開催期間	8月1日(日)~9月30日(木)
参加人数	24,560(口数)
募金総額	2,461,100円



せたがやハウス

クラウドファンディング

「せたがやハウス」では、ハウス生誕20周年のお祝いと、せたがやハウスをこの先の20年へ着実についでいき、ハウスの、病気の子とも家族が笑顔で一緒に過ごせるようにという願いも込めてパースデーションを実施。

多くの方にご参加いただき、ご支援をいただくことができました。

開催期間	11月24日(水)~12月31日(金)
参加人数	455名
寄付総額	5,411,500円





McHappy Day

マックハッピーデー

ハッピーセット1つ販売につき50円を
日本マクドナルド株式会社および
マクドナルドフランチャイズ法人から
ドナルド・マクドナルド・ハウス財団に寄付

総額 2021年11月21日(日)

36,369,150 円

マックハッピーデー当日は、全国のマクドナルド店舗スタッフの皆様が
当財団のキーカラーの一つである“ブルー”を身に着け、
来店いただいたお客様とハウス支援の気持ちで繋がりました。



全店舗に募金箱を設置

2021年1月~12月の募金

総額 64,592,056 円



10円の募金付きクーポンの配信

2021年1月~12月の募金

総額 28,665,840 円



正味財産増減計算書

一般正味財産増減の部

2021年1月1日から2021年12月31日まで (単位:円)

科目		当年度	前年度	増減
1 経常増減の部	(1) 経常収益			
	1 財産運用収入	0	0	0
	基本財産運用収入	0	0	0
	特定資産運用収入	0	0	0
	2 ハウス事業収入	34,064,386	29,144,165	4,920,221
	宿泊料収入	29,160,900	25,070,000	4,090,900
	補助金収入	872,500	815,500	57,000
	その他の収入	4,030,986	3,258,665	772,321
	3 寄附金収入	298,970,596	273,439,723	25,530,873
	寄附金収入	260,579,965	242,203,360	18,376,605
	募金収入	34,647,631	26,928,363	7,719,268
	会費収入	3,743,000	4,308,000	△565,000
	4 補助金等収入	0	0	0
	地方公共団体補助金収益	0	0	0
	5 その他収入	10,905,203	29,069,162	△18,163,959
	雑収入	10,905,203	29,069,162	△18,163,959
	経常収益計	343,940,185	331,653,050	12,287,135
	(2) 経常費用			
	1 事業費	304,879,453	306,112,613	△1,233,160
	(1) ハウス事業運営費	304,879,453	304,707,763	171,690
人件費	128,454,998	134,698,318	△6,243,320	
光熱水料費	28,343,059	30,029,260	△1,686,201	
租税公課	14,794,543	22,473,490	△7,678,947	
減価償却費	58,615,441	59,827,191	△1,211,750	
その他の経費	55,636,549	49,395,167	6,241,382	
事業関連経費	19,034,863	8,284,337	10,750,526	
(2) ボランティア事業	0	1,404,850	△1,404,850	
ボランティア助成費	0	1,404,850	△1,404,850	
旅費交通費	0	0	0	
2 管理費	90,828,398	94,499,323	△3,670,925	
役員報酬	12,000,000	12,000,000	0	
人件費	37,924,549	29,880,720	8,043,829	
旅費交通費	2,344,827	1,712,905	631,922	
会議費	131,491	223,476	△91,985	
通信運搬費	79,352	93,732	△14,380	
減価償却費	3,213,091	2,740,473	472,618	
消耗品費	9,278,954	9,034,495	244,459	
印刷製本費	2,919,307	2,091,247	828,060	
催事費	1,149,610	21,677,057	△20,527,447	
諸謝金	68,500	0	68,500	
委託費	10,583,120	9,476,958	1,106,162	
租税公課	2,828,800	0	2,828,800	
保険料	492,190	419,520	72,670	
雑費	7,814,607	5,148,740	2,665,867	
経常費用計	395,707,851	400,611,936	△4,904,085	
当期経常増減額	△51,767,666	△68,958,886	17,191,220	
(1) 経常外収益				
有価証券評価益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	0	0	
指定正味財産への振替額	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△51,767,666	△68,958,886	17,191,220	
一般正味財産期首残高	2,432,274,960	2,501,233,846	△68,958,886	
一般正味財産期末残高	2,380,507,294	2,432,274,960	△51,767,666	

指定正味財産増減の部

科目	当年度	前年度	増減
受取寄附金額	193,920,511	142,736,850	51,183,661
一般正味財産からの振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	193,920,511	142,736,850	51,183,661
指定正味財産期首残高	763,572,745	620,835,895	142,736,850
指定正味財産期末残高	957,493,256	763,572,745	193,920,511
正味財産期末残高	3,338,000,550	3,195,847,705	142,152,845

貸借対照表

2021年12月31日現在 (単位:円)

科目		当年度	前年度	増減
I 資産の部	1 流動資産			
	現金	2,306,754	2,499,087	△192,333
	普通預金	90,684,540	232,728,088	△142,043,548
	郵便貯金	134,912,247	29,924,945	104,987,302
	未収金	0	11,202,803	△11,202,803
	流動資産合計	227,903,541	276,354,923	△48,451,382
	2 固定資産			
	基本財産			
	基本財産定期預金	300,000,000	300,000,000	0
	基本財産土地	222,680,900	222,680,900	0
	基本財産合計	522,680,900	522,680,900	0
	特定資産			
	ハウス建設積立資金	230,968,780	306,000,000	△75,031,220
	ハウス修繕等費用準備資金	101,684,000	101,684,000	0
	ハウス運営・建設積立資金	434,812,356	240,891,845	193,920,511
特定資産合計	767,465,136	648,575,845	118,889,291	
その他の固定資産				
建物	1,717,175,010	1,714,713,234	2,461,776	
構築物	12,394,040	14,231,973	△1,837,933	
什器備品	11,754,267	15,022,931	△3,268,664	
ソフトウェア	6,123,495	8,689,984	△2,566,489	
電話加入権	76,440	76,440	0	
建設仮勘定	75,031,000	0	75,031,000	
その他の固定資産合計	1,822,554,252	1,752,734,562	69,819,690	
固定資産合計	3,112,700,288	2,923,991,307	188,708,981	
資産合計	3,340,603,829	3,200,346,230	140,257,599	
II 負債の部	1 流動負債			
	未払金	0	0	0
	仮受金	3,000	0	3,000
	預り金	2,600,279	4,498,525	△1,898,246
	流動負債合計	2,603,279	4,498,525	△1,898,246
2 固定負債				
固定負債合計	0	0	0	
負債合計	2,603,279	4,498,525	△1,898,246	
III 正味財産の部	1 指定正味財産			
	(うち基本財産への充当額)	957,493,256	763,572,745	193,920,511
	(うち特定資産への充当額)	(522,680,900)	(522,680,900)	0
	(うち固定資産への充当額)	(434,812,356)	(240,891,845)	△193,920,511
	指定正味財産合計	2,380,507,294	2,432,274,960	△51,767,666
2 一般正味財産				
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	
(うち特定資産への充当額)	(332,652,780)	(407,684,000)	69,819,690	
正味財産合計	3,338,000,550	3,195,847,705	142,152,845	
負債及び正味財産合計	3,340,603,829	3,200,346,230	140,257,599	

財産目録

2021年12月31日現在 (単位:円)

科目		当年度	前年度	増減
I 資産の部	1 流動資産			
	現金預金			
	現金	※1 2,306,754		
	普通預金	※1 0		
	みずほ銀行新宿新都心支店	※1 9,907		
	みずほ銀行成城支店	※1 12,593		
	杜の都信用金庫宮城町支店	※1 584		
	りそな銀行千里北支店	※1 48,718		
	足利銀行自治医大出張所	※1 34,414		
	北海道銀行新川中央支店	※1 17,850		
	多摩信用金庫西国分寺支店	※1 32,846		
	きらぼし銀行春日町支店	※1 1,833		
	三菱UFJ銀行鶴舞支店	※1 392		
	福岡銀行香椎支店	※1 1,318		
	東京スター銀行本店営業部	※1 44,714		
埼玉りそな銀行さいたま新都心支店	※1 90,479,371			
三井住友銀行麹町支店	※1 0			
みずほ銀行銀座支店	※1 134,912,247			
郵便貯金				
未収金				
流動資産合計		227,903,541		
2 固定資産				
(1) 基本財産				
普通預金	※2 300,000,000			
土地	※3 222,680,900			
基本財産合計		522,680,900		
(2) 特定資産				
ハウス建設積立資金 定期預金	※3 0			
ハウス建設積立資金 普通預金	※3 230,968,780			
ハウス修繕等費用準備資金 普通預金	※3 101,684,000			
ハウス運営・建設積立資金 普通預金	※3 434,812,356			
特定資産合計		767,465,136		
(3) その他の固定資産				
建物	※3 1,717,175,010			
構築物	※3 12,394,040			
什器備品	※3 11,754,267			
ソフトウェア	※4 6,123,495			
電話加入権	※4 76,440			
施設設置電話	※3 75,031,000			
建設仮勘定	※3 0			
その他の固定資産合計		1,822,554,252		
固定資産合計		3,112,700,288		
資産合計			3,340,603,829	
II 負債の部	1 流動負債			
	未払金	※5 0		
	仮受金	※5 3,000		
	預り金	※5 2,600,279		
	流動負債合計		2,603,279	
負債合計			2,603,279	
正味財産			3,338,000,550	

※1…運転資金として。 ※2…公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に供している。 ※3…公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。
 ※4…管理目的の業務に使用する財産。 ※5…流動資産に対応する負債。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
その他の有価証券 …決算日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は総平均法により算定)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却について
建物、構築物、什器備品及びソフトウェア …定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高 (単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
●基本財産				
土地	222,680,900	0	0	222,680,900
定期預金	300,000,000	0	0	300,000,000
小計	522,680,900	0	0	522,680,900
●特定資産				
ハウス建設積立資金	306,000,000	0	75,031,220	230,968,780
ハウス修繕等費用準備資金	101,684,000	0	0	101,684,000
ハウス運営・建設積立資金	240,891,845	193,920,511	0	434,812,356
小計	648,575,845	193,920,511	75,031,220	767,465,136
合計	1,171,256,745	193,920,511	75,031,220	1,290,146,036

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳 (単位:円)

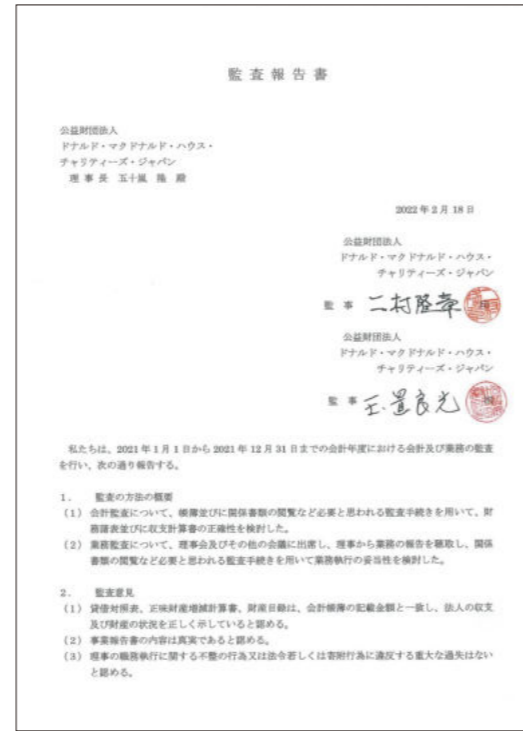
科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
●基本財産				
土地	222,680,900	(222,680,900)	0	0
定期預金	300,000,000	(300,000,000)	0	0
小計	522,680,900	(522,680,900)	0	0
●特定資産				
ハウス建設積立資金	230,968,780	0	(230,968,780)	0
ハウス修繕等費用準備資金	101,684,000	0	(101,684,000)	0
ハウス運営・建設積立資金	434,812,356	(434,812,356)	0	0
小計	767,465,136	(434,812,356)	(332,652,780)	0
合計	1,290,146,036	(957,493,256)	(332,652,780)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,410,789,350	693,614,340	1,717,175,010
構築物	41,469,068	29,075,028	12,394,040
什器備品	125,724,190	113,969,923	11,754,267
ソフトウェア	28,509,588	22,386,093	6,123,495
合計	2,606,492,196	859,045,384	1,747,446,812

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高 (単位:円)

名称ならびに交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金(自治医大)	0	872,500	872,500	0
合計	0	872,500	872,500	0



役職	氏名	所属
理事長	五十嵐 隆	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 理事長
専務理事	御立 尚資	京都大学経営管理大学院 特別教授
常務理事	飯野 直子	常勤
理事	岩中 督	地方独立行政法人埼玉県立病院機構 理事長
	加藤 恵津子	国際基督教大学 教授
	炭谷 茂	社会福祉法人 恩賜財団 済生会 理事長(元環境事務次官)
	田中 美代子	日本コカ・コーラ株式会社 広報・コミュニケーション&サステナビリティ本部 副社長
	長瀬 淑子	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン 初代事務局長
	日色 保	日本マクドナルド株式会社 代表取締役社長 兼 CEO
	宮原 道夫	森永乳業株式会社 代表取締役社長
	安田 智彦	フジバングループ本社株式会社 代表取締役会長 兼 社長
	横田 和彦	スターゼン株式会社 代表取締役社長
	二村 隆章	公認会計士
評議員	玉置 良光	公認会計士
	磯部 光章	公益財団法人榊原記念財団 榊原記念病院 院長
	江幡 哲也	株式会社オールアバウト 代表取締役社長 兼 CEO
	大熊 由紀子	国際医療福祉大学 大学院教授
	河野辺 孝則	日本マクドナルド株式会社 中日本営業推進部 上席部長
	残間 里江子	プロデューサー
	西村 由美子	オーガストネットワークインク 代表
	南 砂	読売新聞東京本社 常務取締役 調査研究本部長
	宮下 建治	日本マクドナルドホールディングス株式会社 取締役執行役員
	宮田 佳代子	フリーキャスター
好本 一郎	一般社団法人東大ウォリアーズクラブ 代表理事	

| Bronze Sponsor

ICS国際コンピューター株式会社
 医療法人愛和会 愛和病院
 あおいそら株式会社
 青柳 宏
 赤羽小児科クリニック
 赤松 敬之
 医療法人上尾キッズクリニック
 浅井 一輝
 朝倉 光史
 朝田 隆
 浅野 潔
 阿出川 悟
 阿部 尚大
 綾部 俊
 荒田 尚子
 アリダ株式会社
 安藤 勲
 安藤 充彦
 飯野 直子
 株式会社EXTレーディング 多田光男
 イオンリテール株式会社
 イキトラス株式会社
 石井 泰明
 石川 香苗
 石田 和海
 泉七北田こどもの社クリニック
 板谷 雅之
 伊東 明雅
 伊藤 麻子
 伊藤 進一
 伊藤 秀敏
 井上 栄一
 井上 早規子
 今井 幸
 今泉 あずさ
 イワイマサト
 岩隈 久志
 一般財団法人岩崎育英文化財団
 岩田 吉弘
 株式会社ヴィーヴォ
 有限会社ウィンロード
 上杉 雅之
 植田油脂株式会社
 上村 寛二
 白井 紀美子
 A.R. MEDICOM INC. (ASIA) LTD.
 エーオンジャパン株式会社
 江夏 利哉
 榎本 欽一
 株式会社MCエパテック
 株式会社エムトラスト
 大路 達也
 オオタケ環境計画株式会社
 岡 孝夫
 岡 幸男・通子・真寿美
 小笠原 弘子

小川 達次
 東京ヤクルトスワローズ 小川泰弘
 小久江 知洋
 奥村 高志
 小野田 浩
 加我 牧子
 カゴメ株式会社
 梶野 透
 片江 慎
 片岡 大
 可知 常昭
 株式会社ガッツポーズ
 加藤 幸代
 金井 弘文
 金澤 向志
 医療法人社団金地病院
 椛 朝海
 狩野 裕子
 加持 真人
 かるがもクリニック
 河合 有希
 川越インタークリニック
 かわごえ歯科クリニック
 川西 克幸
 河野辺 孝則
 川野 芳昭・川野 初美
 川又 幸夫
 川村 深雪
 川本 哲也
 岸口 恵望
 北田 善保
 株式会社喜戸コーポレーション
 希望ヶ丘耳鼻咽喉科
 木村 卓二
 Kushner Jonathan
 株式会社グッドイーディング
 有限会社グッドウィル
 久保田 英也
 有限会社クラッチ 吉田 克彦
 株式会社グランツ
 GREEN'S TALE
 有限会社グリーンフィールド
 GROOVE X株式会社 LOVOT
 黒澤 七重
 株式会社ケイエスアイ
 K. 富美子
 小泉 清則・小泉 雅子
 小出 高久
 こうじ・さとみ・いちか・あかり
 郷内 恵美
 小海 芹
 kokoni
 株式会社 COCO. 不動産
 小寺 美男
 後藤 宗理
 特定非営利活動法人こどもの本総選挙事務局

コネル・ブラザーズ・ジャパン株式会社
 小林 保之
 株式会社小松崎
 小見野 正夫
 株式会社コメットカトウ
 小柳 優
 近藤 高明
 株式会社コントリビュート
 斎藤 更紗
 齋藤 浩幸
 蔡 念佐
 有限会社サエキ
 境 弥生
 阪上 哲
 坂本 恭治
 佐久間 真
 佐々木 琢磨・睦子
 ササキ ヒロコ
 指田 典子
 札幌中島ライオンズクラブ
 佐藤 幹汰
 佐藤商事株式会社
 Sarah & Ernest Casanova
 G・ALL 望月茶園
 シード建設株式会社
 重富 正寛
 シセイカン株式会社
 柴崎 亭
 柴田 一生
 シプラルタ生命保険株式会社 北大阪支社
 しみずハウス
 昭和フード株式会社
 ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人
 グループ JAPAN COMMUNITY IMPACT
 白川 貴教
 新城 宏明
 杉本 充弘
 杉本 讓
 鈴木 清宏
 鈴木 均
 鈴木 啓之
 株式会社スペースエム
 関 哲兵
 Secure2021
 銭谷 敦
 一般社団法人善
 福岡ソフトバンクホークス 千賀 洸大
 有限会社千進
 添田 朋美
 第一生命保険労働組合 道央営業職支部 令和3年
 令和3年 第一生命労働組合 札幌総合営業職支部
 株式会社大果
 高岡 正・幹子
 高木 亨
 高木 のぶ子
 高木 弘祐

Takashi Hida
 高橋 鉄
 高橋 佑輔
 高見澤 克
 瀧岡 万須美
 祝20周年 竹内彰彦
 Ichiro Takeuchi
 竹内 洋介
 医療社団法人タケダ内科医院
 竹村 英作
 多田 一正
 多田 カメコ
 広島東洋カーブ 田中広輔
 谷 妙子
 玉井 穂
 田村 厚子
 茶畑 佳美
 辻元 真寿美
 堤 厚誌
 粒良 幸正
 株式会社ティーエムエー
 株式会社Dダイニング
 株式会社デサキ
 手島 彩花・希穂・菫仁
 公益財団法人東京都軟式野球連盟
 有限会社東名フーズ
 合名会社徳永商店
 富田 壽郎
 豊村 敏朗
 有限会社ドリカム
 長井 謙友
 中浦 雅子
 中木村 聡・由実
 中島 陸・里実
 中野 栄造
 長橋 幸雄
 中村 武文
 なかむらレディースクリニック
 中山 道子
 檜原 敬二郎
 西坂 博子
 西田 ヒロ子
 西村 俊亮
 Nishimura family
 西村 由美子
 株式会社ニチレイフーズ
 日世株式会社
 日本マッकेイン・フーズ株式会社
 株式会社ニューアド社
 有限会社ニューステージ
 野口 哲也・征子
 野原 末治
 野間 啓
 野宮 英二
 株式会社ノモト
 廃油回収・リサイクル業者の会

博多港ふ頭株式会社
 橋本 徳二・春枝
 橋本 幹征
 長谷川 英樹
 パナソニックシステムソリューションズ
 ジャパン株式会社
 濱口 桂
 濱崎 寛士・さくえ
 濱田 宏一
 有限会社濱フーズ
 原口 康太郎
 株式会社P&O
 ビーコンコミュニケーションズ株式会社
 株式会社ブラポール
 日色 保
 東野 育代
 有限会社ヒシ・システムブラザ
 菱沼 秀仁
 有限会社ビックムーン
 医療法人社団PDS アップル小児矯正歯科
 平田 吉博
 広橋 貴寿
 株式会社フォーモーション
 フォンテラジャパン株式会社
 藤井 康生
 富士プロート株式会社
 藤村 英夫
 伏川 良治
 有限会社フリーバード
 有限会社ブレイクスルー
 株式会社ベルエポック
 株式会社ヘルス
 法村 賢仁
 保谷 則之
 北東 哲也・美苗・澤
 細木 信行
 北海道フランチャイジー ドナルドハウス
 チャリティーゴルフ大会
 有限会社ホット・ショット
 株式会社ポラリス
 有限会社マイルス
 前田 一仁
 牧野 綾乃
 埼玉西武ライオンズ 増田 達至
 舩水 明
 増山 誠
 町田 昌久
 松尾 洋子
 松木 伶
 松本 隆寛
 松本 直樹
 医療法人松本ファミリークリニック
 眞野 昌子
 医療法人まるおか内科・リウマチ科クリニック
 株式会社マルマサフード
 三上 徹成

水島 遼人
 株式会社三田ホールディングス
 道越 芳悠・光葉
 三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 南 多見恵
 一般社団法人宮城県レンタカー協会
 みやけ小児科
 宮崎 佳奈・夏帆
 宮下 建治
 宮田 千春
 宮田 桃花
 Million Dollar Round Table Foundation
 向井 みゆき
 村井 弘
 村上 博文
 村島 温子
 メグリア株式会社
 メディコムジャパン
 株式会社メディチュア
 メロディアン株式会社
 森島 正宏
 森島 裕子
 森山 くに代・愛由子・大輔
 株式会社モリヤマフードシステムズ
 福岡ソフトバンクホークス 森 唯斗
 諸藤 喜生
 安川 和子
 柳田 英輝
 株式会社山一ホーム
 株式会社山崎紙源センター
 山崎 寿久
 山田 勝貴
 山田 崇博
 東京ヤクルトスワローズ 山田 哲人
 山田 令子
 山中歯科医院
 山本 精吾・美和
 株式会社遊 従業員一同
 UCC上島珈琲株式会社
 有限会社ユナイテッド・エス
 株式会社ユニファイジャパン
 一般財団法人船員保険会
 横浜リーフみなとみらい健診クリニック
 吉尾 輝大
 カ丸 翔太・由祐
 リコー社会貢献クラブ・FreeWill
 株式会社ルメートルセラピー
 有限会社レキオスフーズ
 若月 寿王
 渡辺 優
 渡邊 由紀
 和田マタニティクリニック

| Platinum Sponsor



| Gold Sponsor



株式会社
アビリティ



マクドナルドフランチャイジー
クオリティフーズ株式会社

株式会社
ドリーム



Neutral Co., LTD.



PGF生命
フルデンシャル システム ファイナンシャル生命



HOSHO Co., Ltd.
日本マクドナルド株式会社フランチャイジー



MITSUI & CO.



UMEDA HOLDINGS
MIYAZAKI



| Silver Sponsor

ACCEA

株式会社
アグレッシブスタッフ

光触媒
コーティングアスライト

株式会社
アドバンス

株式会社
アムズ

有限会社
アルファイン



生田 有吾

上田 佳津子



AIG 損保



有限会社
エムズカンパニー

株式会社
オープンセサミ

岡島 富子

株式会社オカダ



株式会社グランツ
鳥居幸廣



一般財団法人好仁会

近藤 健介
北海道日本ハム
ファイターズ



有限会社
サクセスフーズ

株式会社
札幌フードシステムズ
従業員一同

株式会社
ジェイアール



シオノギ
社会貢献委員会

ジボダンジャパン
株式会社

有限会社島田



株式会社スコレー
取締役 片岡 和希

株式会社スコレー
代表取締役 片岡 正敏

鈴木 大地
東北楽天
ゴールデンイーグルス



有限会社
ステイブル



株式会社セブン



株式会社
仙台にしむら

株式会社貴久
代表取締役 市川 雄久

株式会社
タカコーポレーション

有限会社タキヤ

竹内 久雄

有限会社タナカ

タビーコーポレーション
株式会社



Deloitte
デロイトトーマツ

中村 剛也
埼玉西武ライオンズ

西川 哲文

日鉄物産株式会社



株式会社布屋

NOBUTA GROUP

株式会社ハーベスト
畠 勝彦



有限会社
ビコース

株式会社
ビッグタイム

株式会社ビッグタイム
社員一同

株式会社ヒロセ

ヒロフーズ
株式会社

福岡 横二



有限会社プレジャ

有限会社
ベルエキップ

有限会社
ヤマダ・フードファクトリー

株式会社山全フーズ
従業員一同

株式会社山中

株式会社遊



株式会社
リ・クリエイト

株式会社
リバーサイドコーポレーション

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

〒163-1339 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー39階 TEL:03-6911-6068 FAX:03-6911-6198 <https://www.dmhj.or.jp>